

総合基礎科目	人間と社会「言語と国際性」					
看護学科	選択	1単位	実習	平成30年度	前期	2・3・4年次
臨床検査学科	選択					
科目名	外国語学研修 Language Training Practicum in Foreign Countries					
担当教員	◎曾山奉教 稲本俊 山本佳世子 大西郁子					
目的	グローバル化が進む国際社会やその歴史など、幅広い「教養 (liberal arts)」を身につけ、日本と異なる習慣や風俗を体験し、多様な価値観や世界観を互いに認め合うことの重要性を理解する。また、自から求めて学ぶ習慣を身につけ、高い志を抱いてもらう契機になることを期待している。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語を共通語とする滞在地の歴史と文化についての知識をもとに、現地の滞在生活と日本での生活との具体的な差異について説明できる。</li> <li>2. 滞在地の日本語学校を受講する現地の人々との交流を通して、日本語や英語を用いて国境を越えた多面的な交流ができる。</li> <li>3. 滞在地の医療活動を見学し、日本の医療機関との共通性と差異について説明できる。</li> <li>4. グローバル化する世界で、これからの自分にとってまた日本にとって必要なことを、引率者らとディスカッションし、帰国後に自分の考えをレポートにまとめ伝えることができる。</li> </ol>					
他科目との関連						
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	英語日記と研修レポート				0.6
	その他	事前学習の発表と課題報告				0.4
評価基準	総合評価で一定基準以上を合とし、未満は否とする。					
教科書	なし					
参考資料	なし					
備考 (受講上注意、事前学習等)	シンガポールを渡航先とし、生駒語学センターやラッフルズ病院などが研修受入れ機関となる。 履修希望者の中から成績と面接により選抜。					